

# 令和4(2022)年度事業報告書

特定非営利活動法人 シャーロックホームズ

## 1 事業の成果

昨年度同様、今年度も新型コロナウイルス感染症の流行の中での活動となった。居場所事業における利用時間や人数の制限などにより、以前よりも直接かかわる親子が減っていたり、マスクを通してのコミュニケーションの難しさなどもあったが、これまでの感染対策の経験を活かし、何事も中止にするだけでなく新しい方法や工夫を凝らし、利用者とのつながりづくりを継続できるよう取り組んできた。また、このような状況下における情報発信事業の役割と重要性も再確認される1年となった。

### ① 青少年健全育成の推進

放課後キッズクラブでは昨年度と同様、制限下での活動となったが、少しずつ集団での遊びに展開できるよう工夫した。感染の状況を見ながらではあるが、年度末には職員研修も兼ねてプレイリーダー(外部講師)によるプログラムを実施したり、地域のスポーツクラブ等とのプログラム実施も模索した。

子どもの社会参画推進事業である特命子ども地域アクター事業はコロナの影響により今年度も中止となった。

### ② 子育て支援の推進

2年目の運営となった「西区地域子育て支援拠点スマイル・ポート」は、初年度から力を入れたチームワーク作りが功を奏して、今年度はいくつかのチームを作ったの作業分担を行ったことで、常勤・非常勤関わらず意見を出し合えるような関係性を築けるようになってきた。そして今年度はスタッフのスキルアップを目標に掲げ、ちょうどコロナが落ち着いた頃を見計らって、常勤職員の四国視察研修を実施することができた。また、昨年一新したキャラクターとロゴが定着化し、安定した運営をすることができている。

親と子のつどいの広場については、感染防止対策のため人数制限・利用時間の短縮・利用料の見直しなどを都度検討し、また、補助金を活用して環境整備に力を入れることで、親子が利用しやすい運営を心掛けた。

子育て情報発信事業「ベイ★キッズ」では今年度もリアルなイベントを開催することができず、オンラインを活用した企画に切り替え、情報発信者と受信者のつながりづくりを目指した。LINEを活用した情報発信においては、「選挙へ行こう！企画」など、会員が楽しく参加できる企画を実施した。またこの企画の趣旨である子育て世代の社会参画について賛同してくださる企業からの協賛品の提供もあった。また、情報紙のオンライン取材も継続しており、子育て中の当事者が参加しやすい方法として定着してきている。印刷会社の値上げがあったが、予定通り年4回の発行をすることができた。

横浜アンパンマンこどもミュージアム内にある「子育て情報スポット」では、チラシ・リーフレットの管理や掲示板を活用した情報提供の他、市内の子育て支援情報を収集・取材し、ソーシャルメディア(フェイスブック・ツイッター・インスタグラム)で発信。ベイ★キッズLINEを活用した月1回のレポート発信も行った。どちらの情報発信事業も、リアルとオンラインを活用しながらスタッフ間の意思疎通を図り、地域の子育て中の母親を巻き込んだ支援の循環の仕組みづくりを目指している。

### ③ 行政・企業・市民が協働するために必要な事業

ダブルケア事業に関する講演会はオンラインでの実施が主となっているが、当事者向けの会などはオンラインでは難しいところもあり、少しずつリアル開催を試みているところである。昨年度から始めたダブルケア月間事業を今年度も開催することができ、昨年度よりも多くの参加団体が全国各地でダブルケア支援普及活動に取り組むことができた。当法人でも地域子育て支援拠点でのダブルケアカフェの開催や、情報スポットの掲示板での啓発、ベイ★キッズマガジンのダブルケア特集を各団体に活用いただけるようにするなど、ダブルケアサポートの事務局として全面的にサポートした。

④ その他

コロナの感染が落ち着いてきた3月6日に、法人全体研修を集会形式で開催することができた。実に3年ぶりの集会形式である。広い会場を手配し感染対策を講じて、約70名のスタッフが参加した。3月の開催は初めてで、ちょうど学校が休みに入っている大学生の参加も見られた。テーマは「感じ方、表現の違いを体験しよう!」。カードゲームを使って他人の感じ方の違いを楽しく学びながら部門を越えたスタッフ間の交流を楽しんだ。職員確保が大変難しい昨今、仕事を通して成長する実感を持ってもらい、お互い意見を言い合える風通し良い職場作りにつながるよう、毎年、研修内容を工夫している。

課題として、昨年度同様、放課後キッズクラブ事業は制度変更に伴い書類様式変更が大幅にあり事務が混乱している。特に、本部経費については、規模の大小に関わらず、1キッズ1,443,000円までと一律に横浜市の方で変更されたが、研修計画・実施、安全管理等、法人に新たに課される責任・負担は毎年増加していく状況である。また、キッズスタッフの確保が難しく、求人広告にもかなりの経費をかけているが集まらず、ここ数年、主任をはじめシフト作成に苦勞している。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	事業費の金額(千円)
青少年健全育成の推進	上菅田笹の丘小学校 放課後キッズクラブ (横浜市)	4/1 ～ 3/31	上菅田笹の丘 小学校 (保土ヶ谷区)	24人	利用登録者 238人 (区分①84・区分②154) / 在籍児童 954人中	46,213
	南太田小学校 放課後キッズクラブ (横浜市)	4/1 ～ 3/31	南太田小学校 (南区)	17人	利用登録者 168人 (区分①86・区分②82) / 在籍児童 397人中	31,505
	浅間台小学校 放課後キッズクラブ (横浜市)	4/1 ～ 3/31	浅間台小学校 (西区)	17人	利用登録者 158人 (区分①84・区分②74) / 在籍児童 327人中	29,472
	本牧小学校 放課後キッズクラブ (横浜市)	4/1 ～ 3/31	本牧小学校 (中区)	15人	利用登録者 82人(区分①35・区分②47) / 在籍児童 413人中	18,126
子育て支援の推進	親と子のつどいの広 場シャーロック BABy (横浜市)	4/1 ～ 3/31	西区南軽井沢	9人	未就学児の親子 延べ2,261人、 一時預り97人	9,615 ※コロナ・震 災対策補助 含
	親と子のつどいの広 場シャーロック BABy 本牧(横浜市)	4/1 ～ 3/31	中区本牧和田	8人	未就学児の親子 延べ3,038人、 一時預り206人	9,549 ※コロナ・震 災対策補助 含
	西区地域子育て支 援拠点スマイル・ポ ート(横浜市西区) ・広場運営 ・利用者支援事業 ・子育てサポートシステム	4/1 ～ 3/31	西区みなとみ らい	17人	未就学児の親子 延べ16,177人	47,142 ※コロナ・震 災対策補助・ プレハ・ママ事 業委託費含

	よこはま子育て情報スポット (横浜市)	4/1 ～ 3/31	横浜アンパンマンこどもミュージアム内(西区)	7人	子育て中の親子・子育て支援者・来館者	1,310
	ベイ★キッズ (自主事業)	4/1 ～ 3/31	横浜市全域	8人	妊娠中～小学生の保護者及び関係者	2,122
市民との協	ダブルケア事業 (自主事業)	随時	西区南軽井沢	1人	全国のダブルケア当事者、支援者等	76

※従事者の人数、受益対象者の範囲及び人数は令和5年3月末時点。

※放課後キッズクラブの事業費には補助金戻入13,255千円を含む。

※高齢者等、異世代交流の推進等に関する事業は単体ではなく上記各事業を含む。

(2) その他の事業

実施なし

法人名： 特定非営利活動法人シャーロックホームズ

## 活動計算書

2022年 4月 1日 ~ 2023年 3月 31日 まで

(単位:円)

科 目	金 額		
<b>I 経常収益</b>			
1. 受取会費			
正準会員受取会費	356,000		
賛助会員受取会費	0	356,000	
2. 受取寄付金			
受取寄付金		171,914	
3. 事業収益			
A受託事業収益	45,559,038		
C補助金事業収益(利用料等)	16,108,950		
D自主事業収益	1,204,730	62,872,718	
4. 受取補助金等			
受取補助金	130,966,200		
受取助成金	1,035,000	132,001,200	
5. その他収益			
受取利息	0		
雑収益	0	0	
経常収益計			195,401,832
<b>II 経常費用</b>			
1. 事業費			
(1) 人件費			
給料手当	132,224,575		
通勤手当	3,745,879		
法定福利費	11,565,362		
福利厚生費	486,442		
人件費計	148,022,258		
(2) その他経費			
旅費交通費	472,506		
諸謝金	1,018,048		
印刷製本費	721,420		
会議費	45,681		
地代家賃	5,145,050		
光熱水費	401,391		
通信運搬費	1,462,096		
広告宣伝費	460,444		
消耗品費	5,578,453		
備品購入費	1,048,085		
修繕費	535,200		
新聞図書費	105,162		
研修費	409,074		
支払手数料	42,020		
震災等対策費	3,127,612		
情報収集経費	829,055		
管理運営費(キッズ)	6,040,578		
児童処遇費(キッズ)	2,625,978		
諸会費	8,000		
支払報酬	129,800		
保険料	165,505		
リース料	999,832		
補助金戻入金(キッズ)	13,255,180		
租税公課	90,466		
減価償却費	958,590		
その他経費計	45,675,226		
事業費計		193,697,484	

(単位:円)

科 目	金 額		
2. 管理費			
(1) 人件費			
給料手当	34,502		
人件費計	34,502		
(2) その他経費			
接待交際費	4,000		
会議費	34,991		
事務用消耗品費	16,302		
支払手数料	1,060		
租税公課	5,034		
諸会費	54,000		
寄付支出	2,000		
その他経費計	117,387		
管理費計		151,889	
経常費用計			193,849,373
当期経常増減額			1,552,459
経理区分振替額			0
当期正味財産増減額			1,552,459
前期繰越正味財産額			11,303,657
次期繰越正味財産額			12,856,116

# 令和4・2022年度 活動計算書

(その他の事業会計)

令和4年4月1日 から 令和5年3月31日 まで

特定非営利活動法人の名称	特定非営利活動法人シャーロックホームズ		
科 目	金 額		
I 収入の部			
1 事業収入		0	
当期収入合計		0	
収入合計			0
II 支出の部			
1 事業費		0	
2 管理費		0	
3 繰入金支出			
特定非営利活動法人に係る事業会計への繰入金支出		0	
当期支出合計			0
当期収支差額			0
次期繰越収支差額			0

財 産 目 録

(特定非営利活動に係る事業会計)

令和5(2023)年 3月 31日現在

特定非営利活動法人の名称		特定非営利活動法人シャーロックホームズ	
科 目		金 額	
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	現金手許有高	955,114	
普通預金	横浜銀行反町支店	2,917,495	
	横浜銀行市庁支店	30,814,760	
	横浜銀行本店営業部	3,010,939	
	ゆうちょ銀行	317,256	
売掛金	(事業収入)	1,554,000	
未収金	(事業収入)	646,500	
前払費用		823,679	
立替金		15,800	
	流動資産合計		41,055,543
2 固定資産			
	什器 備品	946,110	
	敷金	964,908	
	固定資産合計		1,911,018
	資産合計		42,966,561
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	(3月分の人件費・法人税・補助金戻入等)	26,160,047	
前受金	(次年度分の会費)	304,000	
預り金	(源泉所得税・社会保険等)	3,194,378	
仮受金	(冊子売上、保険料)	452,020	
	流動負債合計		30,110,445
	負債合計		30,110,445
	正味財産		12,856,116

財 産 目 録

(その他の事業会計)

令和5(2023)年 3月 31日現在

特定非営利活動法人の名称		特定非営利活動法人シャーロックホームズ		
科 目		金 額		
I 資産の部				
1 流動資産				
現金預金	現金手許有高	0	0	
	普通預金	0		
	前払費用	0		
	流動資産合計		0	
2 固定資産				
	什器備品	0		
	ソフトウェア	0		
	敷金	0		
	固定資産合計		0	
	資産合計			0
II 負債の部				
1 流動負債				
	未払金	0		
	前受金	0		
	預り金	0		
	流動負債合計		0	
2 固定負債				
	長期借入金	0		
	固定負債合計		0	
	負債合計			0
	正味財産			0

**貸 借 対 照 表**

(特定非営利活動に係る事業会計)

令和5(2023)年 3月 31日現在

科 目	金 額		
<b>I 資産の部</b>			
<b>1 流動資産</b>			
現金	955,114		
預金	37,060,450		
売掛金	1,554,000		
未収金	646,500		
前払費用	823,679		
立替金	15,800		
仮払金	0		
<b>流動資産合計</b>		<b>41,055,543</b>	
<b>2 固定資産</b>			
什器 備品	946,110		
敷金	964,908		
<b>固定資産合計</b>		<b>1,911,018</b>	
<b>資産合計</b>			<b>42,966,561</b>
<b>II 負債の部</b>			
<b>1 流動負債</b>			
未払金	26,160,047		
前受金	304,000		
預り金	3,194,378		
仮受金	452,020		
<b>流動負債合計</b>		<b>30,110,445</b>	
<b>負債合計</b>			<b>30,110,445</b>
<b>III 正味財産の部</b>			
正味財産			12,856,116
(当期正味財産増加額)			1,552,459
<b>負債及び正味財産合計</b>			<b>42,966,561</b>

## 貸借対照表

(その他の事業会計)

令和5(2023)年 3月 31日現在

科 目	金 額		
<b>I 資産の部</b>			
1 流動資産			
現金	0		
預金	0		
未収金	0		
前払費用	0		
流動資産合計		0	
2 固定資産			
什器備品	0		
ソフトウェア	0		
敷金	0		
固定資産合計		0	
資産合計			0
<b>II 負債の部</b>			
1 流動負債			
未払金	0		
前受金	0		
預り金	0		
流動負債合計		0	
2 固定負債			
長期借入金	0		
固定負債合計		0	
負債合計			0
<b>III 正味財産の部</b>			
正味財産			0
(当期正味財産増加額)			0
負債及び正味財産合計			0